

## ホタルのお宿は？

太田慶子(千葉市)

日 時：2009年7月19日(日) 10:30~12:15 天候：曇

参加者：16名(大人11名 子供5名)

担 当：太田慶子 木下順次

前日の下見の折、草裏などに休んでいるだろうホタルを探したが見つからず、夜に再度採取に行き、ヘイケボタル♀2、♂1を捕まえておく(写真は♂)。

参加者のほとんどが親子連れということで、虫中心の観察会となる。まずはセミの抜け殻(主にニイニイとヒグラシ)探しの結果、低い草木の葉裏などにたくさん見つかった。

ヒカリキセルガイのいるところで、ホタルについての説明をした(キセルガイはオバホタルなどの幼虫のエサとなる)。大草にいるのはヘイケボタルの他にオバホタル・ムネクリイロホタル・クロマドボタルでゲンジはいない。ゲンジとヘイケの幼虫は川の中で過すが、世界にいる多くのホタルの幼虫は陸生だと話したあと、実際のヘイケボタルを雌雄確認しつつ見てもらった。

途中で、エノキにいるアオダイショウの子どもや、ゴマダラチョウの幼虫を見た後、田んぼに下りて、シュレーゲルアオガエルの子供が跳ね回る中、湧水の冷たさを肌で感じてもらった。視線を上に向けると、オニヤンマがたくさん飛んでいる。「ここにはオニヤンマもいるんですか」と、初めて来たお父さんの言葉。

少し谷津田の奥に行き、どんなところにホタルがいるか、を説明する。「ここにはオニヤンマだけでなく、石を除けるとなんと大小のサワガニもいます」と。

最後は<湧水・田んぼの水・水道水・合成洗剤を含んだ水>などによるパックテストで締めくくった。有機物を含まない水道水はCOD(無機的なものにするための化学的酸素要求量)では色の変化はなく、数値が低い(ほとんどゼロ)が、塩素が含まれているので弱酸性だとわかる。湧水・田んぼの水は適度な有機物を含むので少し色づき(10~20mg/l)、PHは中性を示した。洗剤を含んだ水は浄化するのにたくさんの酸素を必要とするので、CODが他と比較してぐんと高い(100mg/l)ことなどがわかってもらえたと思う。

子どもらはもっぱらトンボ捕りに網を振り回していたが、パックテストは面白かったという。「トンボが種類いろいろですね」とお父さん。火曜の夜はホタル調査をしているので、来て下さいと話して終わり、葦の草笛を吹きながら広場に戻った。

